

令和元年度  
組織目標達成度測定シート

今年度の目標設定					今年度の目標の達成度と今後の取り組み		
A 組織の方針(使命)	B 重点目標項目	C 設定理由・考え方	D 活動(手段)	令和元年度 施政方針	E 目標の達成評価	F 目標の達成度	G 今後の取り組み
組織の基本方針又は使命	今年度取り組む事項	どのようなニーズに基づくのか どのような成果を目指すのか	重点目標項目を実現するため行う活動や手段		目標の達成状況や成果の評価(できるだけ定量的に記入)	※目標の達成度の区分(「B重点目標項目」単位での評価)	目標が未達成であれば、今後の具体的な取り組み
京田辺市の教育は、京田辺市教育大綱の基本理念である「未来を拓く、京田辺のひと・まちづくり」に基づき、活力とうるおいのある未来をつくるため、確かな見通しを持って主体的に生き抜く、創造性あふれる心豊かな人間の形成を目指すものである。 そのため、学校教育、社会教育、社会体育の密接な連携のもと、大学をはじめ地域の学術研究機関などの協力も得ながら、子どもの豊富な社会体験を通して人間形成に努めるとともに、市民の生涯にわたる学習活動を推進し、地域に即した教育活動の創造と活性化のために、より一層の努力を図るものである。	1. 中学校給食実施基本計画の策定	中学校給食実施の基本方針及び庁内検討委員会での検討結果を踏まえ、効果的・効率的で早期に実施可能な共同調理方式による給食の基本方針を策定する	令和元年9月 基本計画策定業務委託補正予算要求 検討会議の開催 パブリックコメント		9月補正において、中学校給食基本計画策定支援業務を予算化。 中学校基本計画策定に着手した。	B	パブリックコメントを実施し、令和2年10月末までに策定を完了する。
	2. 文化ホールを核とした複合型公共施設整備の検討	複合型公共施設を構成する各施設部分のプランを検討する。	各施設部分に必要な規模・機能等について視察等を行い、調査を進める。		現行施設関係者から提出された資料を基に、複合型公共施設を構成する各施設部分について、プランを作成した。	B	
	3. 放課後子ども総合プランの充実	これまでの取り組みを継続しつつ、「放課後の子どもの居場所」が留守家庭児童会以外の選択肢がない状況を変えていく必要がある。	前年度のブレ事業の結果及び小学校側において新しく発生した状況を踏まえた令和元年度事業の実施		放課後子どもプラン事業については概ね実施した。 3月実施予定のキッズプレイス事業はコロナウイルス感染症拡大防止のため中止となった。	B	臨時休業後の回復授業などにより、放課後等の時間が確保できない可能性もあるため、今後の状況に合わせて事業を計画していく。
	4. 今後の幼稚園の方向性の検討	公立認定こども園化を含めた、今後の幼稚園のあり方を検討する。	大住幼稚園を令和5年度に認定こども園化することを含め、関係各課や幼稚園長などと協議し、市全体の幼稚園のあり方について、より良い幼児教育・保育に向けた方向性を検討する。		輝くこども未来室と協議して大住幼稚園のこども園化に係る基本構想を策定した。	B	引き続き関係各課・幼稚園・小学校との協議を行い、幼稚園のあり方を検討する。
	5. 今後の小学校・中学校の整備方針に関する調査・検討	転入等に伴う児童生徒の増加が見込まれる学校や、一方で、減少が見込まれる学校においても、学校運営・施設整備両面から引き続き適正な教育環境を保持していくもの。	将来人口推計や現状の諸課題を踏まえ、小学校・中学校の児童生徒の増減を調査し、その結果を踏まえ市の方向性を検討する。		児童生徒数の増加により、教室不足が生じ、教育環境が悪化するおそれのある学校に係る課題を整理し、仮設校舎設置等に係る予算協議等の調整を行った。	A	